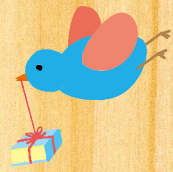
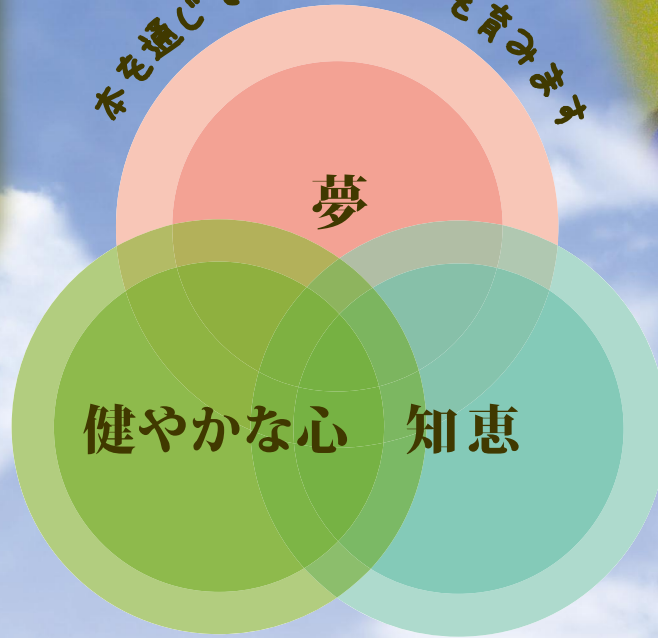


将来を担う子どもたちに本を届けよう！

# 読む力は生きる力



本を通じて子どもの心を育みます



## 子どもにとっての読書とは

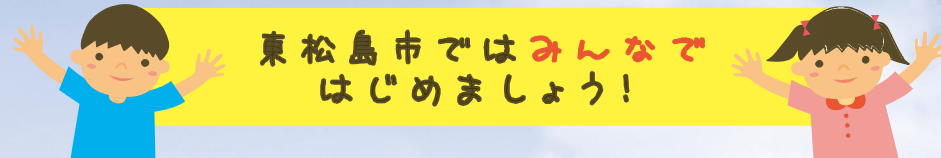
言葉は空気や水とともに、人類の生存に欠くことができぬものですが、いまやその空気も水も汚染され、言葉も衰えが目立ちます。二十一世紀をむかえるにあたり、わたくしどもはことばのいのちと力の再生に、総力をあげて取り組まねばなりません。それが教育と読書にかかっています。

「子ども読書年」の理念より抜粋

市民協働のまちづくりによる都市宣言

## 「だれもが本に親しむまち」

「読書」は、日常生活に必要な能力を高めるだけでなく、将来を担う子どもたちにとって人生の可能性を広げるきっかけにもなります。先人の知恵と知識が凝縮された「本」を家庭や地域に広め、読書習慣化されるまちづくりを目指します。



## 東松島市の現状と問題点 ※1

- 未就学児の毎日の読み聞かせ頻度が全国より33%低い。また、読み聞かせに図書館活用が全国より54%低い。 ※2
- 未就学児のテレビ視聴時間が全国より12分長い。 ※3
- 小学生の1ヶ月の読書冊数が県平均1.6冊、全国より2.1冊少ない。不読率は県より6.1%、全国より8.7%高い。 ※4
- 中学生の1ヶ月の読書冊数が県より1.2冊、全国より1冊少ない。不読率は県より0.4%、全国より7.4%高い。 ※4
- 保護者の読書に対する意識が低い。今回のアンケート調査で読書冊数記入率が70%空欄。

## 具体的な読書への取組み

### 家庭

- 規則正しい生活を読書から
- 「うちどく」への取組(家族で読書)
- 図書館積極的な利活用
- ママもパパも読み聞かせ
- スキンシップに(乳幼児期)読み聞かせ
- 「東松島市家庭読書週間」(仮称)への参加

### 地域

- 地域で読書推進
- 地域の読み手の発掘
- 読書推進への積極的参加

### 行政

- 学校図書室の充実
- 読書施設の充実
- 「東松島市家庭読書週間」(仮称)制定
- 心あったかイトころ運動(学校読書の日)制定
- 親子で読書マラソン推進
- 読書推進の情報発信
- 学級文庫推進(調べる力育成)
- 出前講座(小学校、幼稚園、保育所等で開催)
- 巡回図書設置(読む力育成)
- 読み聞かせボランティア発掘・受入・育成
- 乳幼児向け読書推進(健康診査)
- ブックスタート
- 読み手育成講座開催
- 資源と情報のリサイクル市(図書館まつり)
- その他読書推進事業の開催

### 各施設・団体

- 園児、来館者(保護者)に本の良さをPRして薦める
- 団体利用(1ヶ月間貸出)で図書館を利用

### 学校

- 地域の読み聞かせボランティアの発掘・受入
- 心あったかイトころ運動(学校読書の日)
- 読書タイム(朝読書など)
- 家庭での読書推進呼びかけ
- 図書館の利活用(学級文庫、夏休み等(利用推進))
- ブックトーク(特に中学生)
- 学校図書室の充実

## 目標

### 未就学児

図書館で借りる未就学児1人当たりの貸出冊数  
平成21年度 年10.9冊  
⇒平成27年度 年15冊

### 小学生

児童1人当たりの読書冊数  
平成22年度 月6.5冊  
⇒平成27年度 月8冊

### 内訳

- 低学年: 月15冊
- 中学年: 月 5冊
- 高学年: 月 4冊

### 中学生

生徒1人当たりの読書冊数  
平成22年度 月2.7冊  
⇒平成27年度 月3冊

### その他

- 家庭でのテレビの視聴時間を減らす
- 子どもたちが1日1回本を手にする
- 家庭での読み聞かせを増やす

※1 当市において、平成22年6月に読書状況を市内幼稚園・保育所・小中学校・図書館などで実施  
※2 全国状況は、日本公文研究会『ミーテ読み聞かせレポート2009』より引用

※3 全国の状況は、NHK放送文化研究所・世論調査部「日本人とテレビ2010」調査結果の要約より引用

※4 県の平均は、宮城県の「子ども読書活動に関するアンケート」。全国の平均は「学校読書調査」(毎日新聞、社団法人全国学校図書館協議会)より引用

詳細は東松島市図書館のホームページをご覧ください。

